

積立金（基金）の状況

積立金は皆さんの家計で言う「貯金」に当たります。
そのうち、使い道が自由な財政調整基金の現在高は、令和5年度と比較して増加し、16億3,156万円となりました。

財政調整基金残高		市民一人 当たり貯金額
令和4年度	13億8,651万8千円	12,069円
令和5年度	16億777万9千円	14,170円
令和6年度	16億3,156万円	14,565円
増減額（R6-R5）	2,378万1千円	395円

借入金（市債）の状況

借入金は将来にわたって使われる学校や道路などの公共施設を整備する場合などに、市が借り入れる資金のことです。

一般会計の市債残高は令和5年度と比較して減少し、523億5,988万6千円となりました。

市債残高		市民一人 当たり借金額
令和4年度	524億480万4千円	456,146円
令和5年度	526億8,855万3千円	464,355円
令和6年度	523億5,988万6千円	467,428円
増減額（R6-R5）	▲3億2,866万7千円	3,073円

市債は、資金調達的手段ではありますが、財政負担の平準化を行うとともに、現在世代と将来世代の負担を公平に保つ機能を有しています。

財政調整基金は、災害や社会情勢の変動などの不測の事態に対応するために行っている貯金です。